

第2回 和島地域委員会次第

日時：令和元年 11 月 19 日（火）

午後 4 時から

場所：和島保健センター

1 階検診ホール

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

- ・今後のまちづくりの提案や広聴のあり方の検討について

4 報 告

- ・地域の宝磨き上げ事業について

5 その他

6 閉 会

今後のまちづくりの提案や広聴のあり方の検討について

1 主旨

[主旨]

地域の代表機関として活躍してきた地域委員会のこれまでの活動を振り返るとともに、地域の現状と課題を総合的な視点から照らし合わせながら、今後の地域づくりに相応しいまちづくりの提案や広聴機能の形について、幅広く議論していただきたい。

[背景]

- 合併後、支所地域におけるまちづくりの検討や広聴の代表機関として、地域委員会を設置
- 15年にわたり、地域における振興策や生活課題への対応などを議論。ふるさと創生基金事業や地域の宝磨き上げをはじめ、少子化を背景とする小学校や保育園の統合、交通対策、コミセンの開設、新たな活動の誘発など、様々な成果を創出してきた。
- 一方、いずれの地域においても人口減少、高齢化は着実に進んでおり、地域の担い手不足はいずれの地域においても懸念されている。
- そのようななか、地域には区長会や総代会、コミセン協議会など住民代表が集う様々な組織が存在し、広聴機能の効率化を求める意見も散見されるようになってきた。
- また、若い世代の多様な活動が芽生えている地域もあるなかで、次代を担う若者の意見を積極的にまちづくりに活かすことが、地域の活力維持につながるという意見も聞かれる。

2 和島地域の現状と課題

(1) 全市人口及び世帯数の推移と将来見通し



※和島地域の震災前後の比較

	人口 (人)	高齢化率 (%)
H16.4.1 (震災前)	5,090	26.7
H31.4.1 (震災後)	3,970	38.2
増減	▲1,120	11.5

(2) 地域の主な課題

- ・公共交通機関の通らない地域における生活交通の確保
- ・子どもと高齢者が安心できる地域づくり
- ・コミュニティセンター及びコミュニティ運営組織の立ち上げ
- ・公共施設の有効利用

(3) 広聴組織、団体の状況等

- ・住民代表として集落ごとに区長がおり、市で年2回(4月、10月)の区長会を開催している

3 和島地域委員会が果たしてきたまちづくりへの提案・広聴機能

[まちづくりの提案]

- ・平成28年度に「今後の和島地域における交通体系についての提案」をまとめ、市は平成30年8月に和島地域生活交通検討委員会を設置し、令和元年9月から週2回の移動バス運行の実証実験を始めた
- ・平成28年度に「今後の和島地域のコミュニティ推進に向けての提案」をまとめ、市は平成31年3月に和島地域コミュニティ検討委員会を設置し、コミュニティセンター設置及びコミュニティ運営組織の検討を始めた

[広聴機能]

- ・地域の意見や不安の声を拾い、地域委員会で行政と一緒に対策を検討してきた
- ・ほかの地域の様々な取り組みなど先進地を視察し、和島地域の地域づくりの参考とした

4 今後の検討テーマ(案)

次のテーマについて幅広く御意見をいただきたい。

- まちづくりに関する地域住民の意見・提案をお聞きする「広聴の仕組み」として相応しい形は
- 多様な地域課題に対し、実のある検討を柔軟に行う「検討の仕組み」として相応しい形は

令和元年度地域の宝磨き上げ事業実施状況

0 和島の宝地域づくりネットワーク会議の開催

- (1) 第1回和島の宝地域づくりネットワーク会議
- 日時：4月23日(火) 午後3時から午後4時
 - 会場：和島保健センター1階「検診ホール」
 - 出席者：委員7名、支所7名
 - 議題：①平成30年度事業報告及び決算について
②平成31年度事業計画及び予算について

1 良寛さまPR事業

(1) 中学生連携事業

A) 遠足「良寛さまを歩く」タイアップ

- 事前学習：5月7日(火)
- 遠足実施：5月10日(金) 生徒96名
- コース：国上山→寺泊→はちすば通り(ガイド案内)→中学校
- 指導：和島観光ボランティアガイド会
- 俳句展示：7月の1か月間、和島支所ロビーにて展示
- 良寛読書週間：6月

B) 中学生書道教室

- 実施日：12月10日(火)
- 会場：北辰中学校
- 指導：書道専門家派遣

(2) 首都圏ふるさとわしま会連携事業

A) ふるさとわしま交流ツアー

- 実施日：9月21日(土)・22日(日) ※一泊二日
- 参加者：首都圏ふるさとわしま会員を中心に18名
- 見学場所：和島地域の3つの宝、はちすば通り良寛てまり座 など

B) ふるさと交流会

- 日時：9月21日(土) 午後6時45分
- 会場：和島地域内
- 参加者：交流ツアー参加者と和島地域から

(3) トリムハイキングタイアップ

- 実施日：5月19日(日)
- 主催者：和島公民館
- コース：和らぎ家→妙法寺→キャンプ場(昼食)→もてなし家
- 参加者：和島地域から90名
- 協力内容：和島地域プロモーションDVD及び地域の宝資料配布、昼食時のトン汁材料を提供

(4) 地域の宝灯り事業

A) わしままつりタイアップ

- 実施日：8月15日(木)
- 主催者：ふるさとわしままつり実行委員会
- 会場：道の駅良寛の里わしま
- 来場者：3,700人(まつり期間のべ6,500人)
- 協力内容：良寛と貞心尼のイメージ幕及び撮影スポットライトアップの設置

B) 良寛てまり座タイアップ

- 日時：9月21日(土) 午後3時から午後8時
- 主催者：良寛さま朗読ライブ実行委員会、和島島崎地区まちづくり協議会
- 会場：宇奈具志神社、はちすば通り
- 来場者：620人
- 協力内容：竹灯籠製作補助、飾り竹灯籠用LED照明、電池等、加工用具の補助

C) 【追加】良寛てまり座PRリーフレット作成

- 内容：今年度実施の良寛てまり座の画像を使い、竹灯籠などを中心にした灯りのイメージリーフレットを作成、PR活動に活用する
- 完成：2月末

2 住雲園PR事業

(1) 庭園整備

A) 庭園整備ボランティア募集 (1回目)

- 日 時：6月29日(土) 午前10時から正午
- 参加者：50名(うち中学生30名)
- 指 導：造園経験者
- 協 力：越後鉄道の歴史を考え住雲園を守る会

B) 庭園整備ボランティア募集 (2回目)

- 日 時：11月4日(月・祝) 午前10時から正午
- 参加者：54名(うち中学生23名)
- 指 導：造園経験者
- 協 力：越後鉄道の歴史を考え住雲園を守る会

(2) 建物リフレッシュ

- 実施時期：11月～3月
- 内 容：建物の傷んだ箇所を簡易に修繕する

(3) 東屋再建調査

- 実施時期：1月～3月
- 内 容：東屋の新規製作には多額の費用がかかるため、現在のものを修復する

(4) 住雲園パンフレット更新

- 実施時期：3月
- 内 容：「住雲園と久須美家の人々」に新たに判明した内容を加えて改訂版を作成する

3 村岡城址遊歩道活用事業

(1) 雪割草保護PR

- 実施時期：3月中旬（週末の土日、2週間計4回程度）
- 協力：村岡城址の歴史を守る会、和島ボランティアガイド会
- 会場：村岡城址遊歩道周辺
- 内容：村岡城址の歴史及び「ゆきわり草」ほか山野草の現地ガイド会を開催する

(2) 遊歩道等整備

- 実施時期：通年
- 協力：村岡城址の歴史を守る会
- 内容：遊歩道の整備にかかる資材支給、案内看板整備など

9月全戸配布チラシ(写)

令和元年9月1日

和島地域の皆さんへ

和島地域生活交通地域内移動バス(実証実験)運行のお知らせ

和島地域生活交通検討委員会では、和島地域内生活交通の今後のあり方について検討しています。

この度、和島村商工会から協力をいただき、実証実験による和島高畑・日野浦・和島中沢方面と和島支所周辺を結ぶ和島地域内移動バスを運行します。

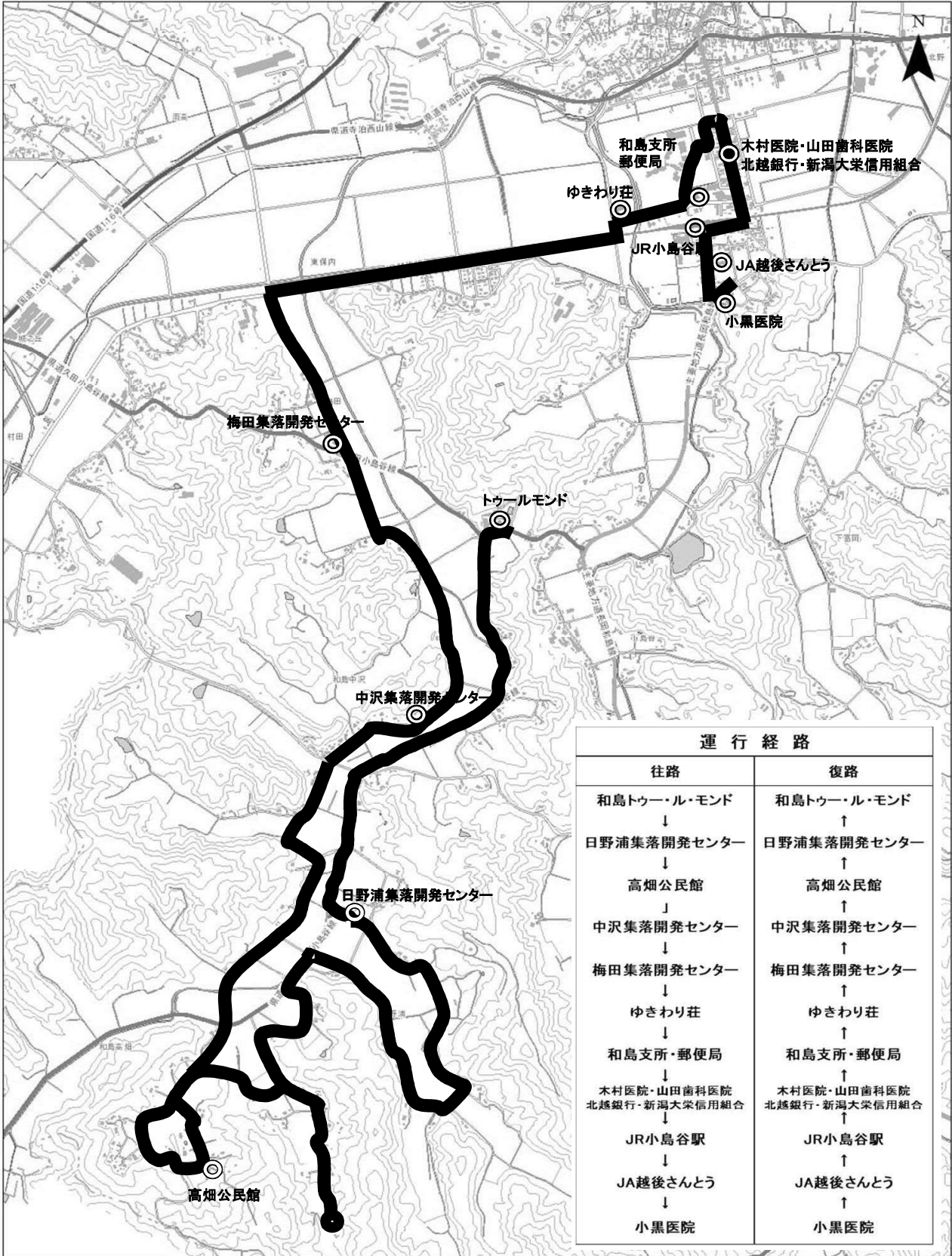
運行経路上の乗降車であれば、和島地域の方どなたでもご利用できますので、大いにご利用してください。

【運行の概要】

- 1 運行経路 和島高畑・日野浦・和島中沢方面 ⇔ 和島支所方面
移動バスの運行経路は裏面のとおりです。
- 2 運行方法 和島地域生活交通検討委員会が和島村商工会を通じて地域内の割烹業者と契約を結び、割烹業者のマイクロバスを利用して、無償(ボランティア)で運行します。
※道路運送法第78条(自家用自動車による有償運送)の規定を受けない「無償ボランティアによる運送(許可・登録等が不要)」による運行
- 3 運行期間 令和元年9月9日から令和2年2月28日まで(予定)
- 4 運行日 運行期間中の月曜日及び金曜日
※運行日が祝祭日・休日に当たる場合及び年末年始(12/29~1/3)は運行しません。
- 5 運行時間 午前(往路) 9時00分(和島トゥール・モンド前 発 ⇒ 小黒医院前 着)
(復路) 10時30分(小黒医院前 発 ⇒ 和島トゥール・モンド前 着)
午後(往路) 14時00分(和島トゥール・モンド前 発 ⇒ 小黒医院前 着)
(復路) 15時30分(小黒医院前 発 ⇒ 和島トゥール・モンド前 着)
- 6 料金 **無料(実証実験期間中のみ)**
- 7 利用方法 **乗車を希望される方は予約が必要です。**(※予約がない日は、原則運行しません。)
乗車及び降車場所は、運行経路上であれば自由です。
予約受付時間 8時30分から17時15分まで(平日のみ)
月曜日乗車希望の方…前週金曜日 正午まで
金曜日乗車希望の方…前日木曜日 正午まで
予約電話番号 電話74-3114(和島支所産業建設課)
- 8 その他 今回の実証実験で運行する地域内移動バスの利用状況を確認し、今後の地域内移動バスの運行経路(方面)や運行時間等を検討します。
地域の皆さんで、無償(ボランティア)で運行にご協力いただける方がいましたら、和島支所産業建設課までご連絡ください。燃料費は実費分お支払いいたします。
詳しいことは下記までお問い合わせください。

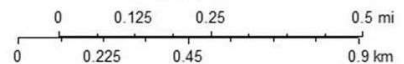
(お問い合わせ先 和島地域生活交通検討委員会
事務局 和島支所産業建設課 電話74-3114)

実証実験運行経路(和島高畑・日野浦・和島中沢方面)



運行経路	
往路	復路
和島トゥール・モンド	和島トゥール・モンド
↓	↑
日野浦集落開発センター	日野浦集落開発センター
↓	↑
高畑公民館	高畑公民館
↓	↑
中沢集落開発センター	中沢集落開発センター
↓	↑
梅田集落開発センター	梅田集落開発センター
↓	↑
ゆきわり荘	ゆきわり荘
↓	↑
和島支所・郵便局	和島支所・郵便局
↓	↑
木村医院・山田歯科医院 北越銀行・新潟大栄信用組合	木村医院・山田歯科医院 北越銀行・新潟大栄信用組合
↓	↑
JR小島谷駅	JR小島谷駅
↓	↑
JA越後さんとう	JA越後さんとう
↓	↑
小黒医院	小黒医院

1:12,000



(令和元年10月28日現在)

令和元年度 和島地域生活交通実証実験 利用者集計表

(人)

No.	月日	曜日	中沢発	駅前発	中沢発	駅前発	日計
			9:00	10:30	14:00	15:30	
1	9月9日	月	1	1	PR運行	PR運行	2
2	9月13日	金	3	3	0	0	6
3	9月20日	金	1	1	0	0	2
4	9月27日	金	1	1	0	0	2
5	9月30日	月	1	1	0	0	2
9月【月計】			7	7	0	0	14
6	10月4日	金	4	4	0	0	8
7	10月7日	月	0	0	0	0	0
8	10月11日	金	1	1	0	0	2
9	10月18日	金	1	1	0	0	2
10	10月21日	月	0	0	0	0	0
11	10月25日	金	1	1	0	0	2
12	10月28日	月	1	1	0	0	2
10月【月計】			8	8	0	0	16
合計(人)			15	15	0	0	30

■ 9月計【予定運行日数:5日】

予定便数	運行便数	未運行便数	利用者延人数	利用者数/1便
20	10	10	14	1.4
			利用者実人数	
			4	

■ 10月計【予定運行日数:7日】

予定便数	運行便数	未運行便数	利用者延人数	利用者数/1便
28	10	18	16	1.6
			利用者実人数	
			5	

■ 実証実験(全体集計)

予定運行日数	予定便数 A	運行便数 B	未運行便数	利用者延人数	利用者実人数	利用者数/1便
12	48	20	28	30	5	1.5

運行割合 (B/A)	41.7%
------------	-------

(令和元年10月28日現在)

和島地域生活交通実証実験 利用者アンケート結果

実利用者5人に対してアンケート調査実施(乗車時に実施 9月…4人 10月…1人)

質問内容		回答状況			
	乗車地域	日野浦	和島中沢		
		3人	2人		
1	性別	男性	女性		
		1人	4人		
2	年代	70歳代	80歳以上		
		1人	4人		
3	目的地	木村医院	波整骨院	JA越後さんとう	北越銀行
		3人	1人	1人	1人
4	今までの交通手段	タクシー	バイク	自転車	
		2人	2人	1人	
5	利用の目的	・医療関係 4人			
		・金融関係 2人			
6	利用の動機	・民生委員のすすめ 4人			
		・家族が乗車しているため 1人			
7	今後の利用予定	月1回程度	月2回程度	月3~4回	
		2人	2人	1人	
8	利用料金	200円~300円(片道)	500円(往復)		
		3人	2人		
9	運行経路以外で 回ってほしい場所	・ディサービス ・ひらせい			
10	乗車した感想	・助かる ・有難い			
※ ボランティア問合・応募人数		0人			

「地域委員」から地域の中で話題にしていきたい事項

① 移動バスの実証実験運行中

- ・ 運行経路は、和島高畑方面から支所方面となります。(p 2 参照)
- ・ 予約が必要ですが、実証実験中(9/9~2/28)は無料となります。(p 1 参照)
- ・ この地区を実証実験の場として選んだのは、バス路線や JR 駅等が無く、公共交通の空白地域で、さらに 65 歳以上の割合を示す高齢化率が和島地域の中で一番高く、40%を超えていた為です。
- ・ 今はご近所や家族等の協力があり大丈夫と考えている方も、5 年後 10 年後となると皆不安を感じていると思います。ここに住み続けたい方が、仮に免許返納をしても気兼ねなく乗れる代替の交通手段があれば安心出来るのではないかと、この考えで実験を始めています。
- ・ 今年度(9/9~2/28)の利用状況や乗車アンケートを踏まえ、来年度の実証実験の運行経路(方面)や本数、時間等を検討しています。

② 運転ボランティアを募集中

- ・ 無償(ボランティア)で実証実験にご協力いただける方を全戸配布チラシの中で募集をかけています。(p 1 参照)
- ・ 1 便当り準備の時間を含め約 1 時間程度で、協力形態は特に決めていません。

● 実証実験の運行状況写真



運行経路上の
自宅前まで迎えに行きます。

運行経路上の
好きな場所で降りられます。

